需要動向調査報告書

~平成 28 年度 伴走型小規模事業者支援推進事業~

平成 28 年 12 月

喜連川商工会

目次

I. 購買動向	1
1. 栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」について	1
(1) 調査の目的・内容	1
(2) 調査対象世帯の状況	1
2. 購買動向	3
(1-1)地元購買率	3
(1-2)地元購買率の推移	5
(1-3)市町村別·商品別地元購買率	5
(1-4)地元購買率•流出率	7
(1-5)地元購買率•吸収率	7
(2)利用店舗形態	8
(3)買物理由	10
(4)利用交通機関	12
(5)買物頻度	12
(6-1)商店街・一般商店の利用頻度	13
(6-2)商店街・一般商店の利用頻度(市町村別)	
(6-3)商店街・個人商店の買物理由	15
(6-4)商店街・個人商店の買物理由(市町村別)	16
(6-5) 商店街・一般商店で買物をしたくなる条件	
(6-6)商店街・一般商店で買物をしたくなる条件(市町村別)	
3. 市町村別購買動向	
(1)県内購買率占有率	
(2) 総購買人口等の変化	
(3) 商圏及び影響圏構成市町村の変化	
(4-1) 氏家町の購買人口	
(4-2)商品別買物地区	
(4-3)氏家町の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳	
(4-4)氏家町の商圏等の変化	
(4-5) 氏家町の商品別商圏等	25
(4-6) 氏家町の商圏	
Ⅱ. コンタ君カードに対する評価	
1. コンタ君カード加盟事業者アンケート	
(1) 調査の概要	28
(2-1) コンタ君カード加盟事業者の状況	28

	(2-2) コンタ君カードの活用状況	. 31
	(2-3) コンタ君カードに対する評価	. 32
	(3) まとめ	. 35
2	. コンタ君カード利用者アンケート	. 36
	(1) 調査の概要	. 36
	(2-1) コンタ君カード利用者の状況	. 36
	(2-2) コンタ君カード加盟店の利用状況	. 39
	(2-3) コンタ君カード事業に対する評価・要望	. 42
	(3) まとめ	. 44
3	. アンケート項目	. 45

I. 購買動向

1. 栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」について

(1)調査の目的・内容

栃木県の「地域購買動向調査(『お買い物しらべ』)報告書」は、地域小売商業者の経営の活性化に必要な店づくり、商店街づくり、販売促進等の基礎資料として、また、行政機関、支援機関における支援資料として活用することを目的に、県内消費者の購買行動範囲、利用店舗の形態及び交通方法等を調査したものである。

2014 (平成 26) 年 7月 1 日を調査基準日として、栃木県 (産業労働観光部経営支援課)が、県内市町立中学校 158 校の第 1 学年在学生の全世帯 17,907 件を対象として実施した。

調査項目は、購買行動の状況(商品別買物場所別の買物割合、店舗形態、買物理由、買物場所別の利用交通機関、買物頻度)のほか、商店街等の利用状況、通信販売等の利用状況である。

この調査は1973(昭和48)年に開始され、今回の調査が15回目である。2004(平成16)年の調査以降、市町村合併により49市町村から25市町になったが、消費者の買物動向を詳細に把握するため、調査は旧49市町村単位で実施している。

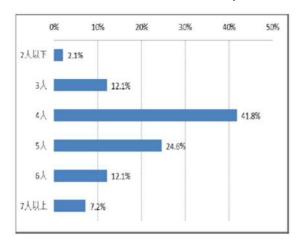
(2)調査対象世帯の状況

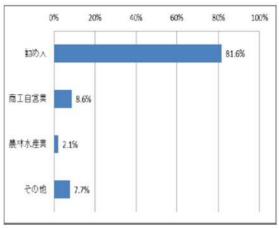
家族数では、4人が最も多く、次いで5人となっている。

世帯主の職業は、勤め人が81.6%となっている。

年齢は、40~44歳が最も多く、次いで45~49歳となっている。

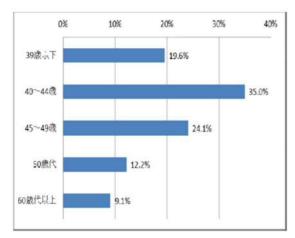
図表: (左) 家族数の割合 (n=12,778) 、(右) 世帯主の職業割合 (n=12,712)

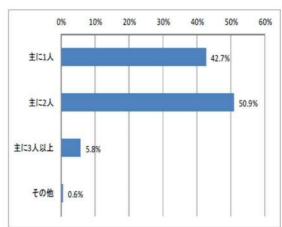




出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

図表: (左) 世帯主の年齢 (n=12,735) 、(右) 所得の担い手の割合 (n=12,650)





出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

2. 購買動向

(1-1) 地元購買率

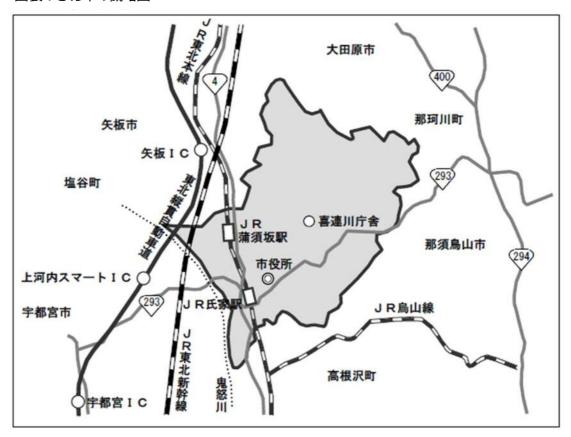
栃木県の旧市町村別での地元購買率をみると、喜連川町は9.4%で、5年前の2009年調査時より2.2 ポイント減少している。

喜連川町居住の、中学生の子どものいる 40 歳代ファミリーは、買物や飲食の 9 割以上を地元以外の店舗で行っていることが読み取れる。

図表:市町村別地元購買率 (購買率の高い順)

市町村名	21年度 調査	26年度調査	增減幅 26年度-21年度		市町村名	21年度 調査	26年度調査	增減幅 26年度-21年度
栃木県	96.8	96. 2	▲ 0.6					
1 宇都宮市	97.4	97.2	▲ 0.2	26	那須町	18.3	17.2	▲ 1.1
2 佐野市	87. 6	89. 7	2.1	27	岩舟町	15.3	17.1	1.8
3 小山市	86. 6	84. 6	▲ 2.0	28	粟野町	15. 1	16.5	1.4
4 黒磯市	80.3	80. 7	0. 4	29	上三川町	24. 6	16.4	▲ 8.2
5 足利市	85. 0	79.9	▲ 5.1	30	小川町	17.8	15. 1	▲ 2.
6 栃木市	80.5	75. 5	▲ 5.0	31	藤岡町	18.4	14.8	▲ 3. (
7 大田原市	85. 2	74. 3	▲ 10.9	32	馬頭町	15.1	14.5	▲ 0.
8 今市市	72.1	68. 4	▲ 3.7	33	二宮町	15. 2	13.8	▲ 1.4
9 真岡市	80.4	68. 1	▲ 12.3	34	西方町	11.4	13. 4	2. (
10 西那須野町	57.3	66. 7	9. 4	35	市貝町	13.6	11.8	▲ 1.8
11 鹿沼市	69. 4	64. 2	▲ 5.2	36	茂木町	21.7	11.5	▲ 10.2
12 氏家町	64. 6	62. 9	▲ 1.7	37	日光市	7.7	9.7	2. (
13 矢板市	69. 5	56. 9	▲ 12.6	38	喜連川町	11.6	9.4	▲ 2.1
14 烏山町	54. 9	52. 2	▲ 2.7	39	南那須町	10.2	8.4	▲ 1.8
15 大平町	37.2	44. 4	7.2	40	藤原町	5.9	7.5	1. (
16 南河内町	42.5	40. 9	▲ 1.6	41	足尾町	9. 7	7.1	▲ 2.0
17 益子町	34. 6	38. 1	3.5	42	葛生町	9.9	6.8	▲ 3. 1
18 壬生町	37. 2	36.8	▲ 0.4	43	上河内町	11.4	6.0	▲ 5.4
19 石橋町	32.4	32.8	0.4	44	都賀町	7.3	5. 5	▲ 1.8
20 野木町	32.1	30. 9	▲ 1.2	45	塩谷町	10.0	5. 2	▲ 4.8
21 高根沢町	34. 7	28. 4	▲ 6.3	46	黒羽町	11.0	5.0	▲ 6. 0
22 芳賀町	20. 7	25. 5	4. 8	47	塩原町	4.5	2.1	A 2.4
23 田沼町	23. 4	23. 2	▲ 0.2	48	湯津上村	1.0	0.6	▲ 0. 4
24 河内町	19. 2	19.0	▲ 0.2	49	栗山村	0.0	0.3	0. 3
25 国分寺町	14.7	18. 7	4.0	※人	口加重平均の	地元購買率(H	121 : 66. 3%	, H26 : 61.3%

図表: さくら市の概略図



出典: さくら市「さくら市地域福祉計画(平成24年3月)」

(1-2) 地元購買率の推移

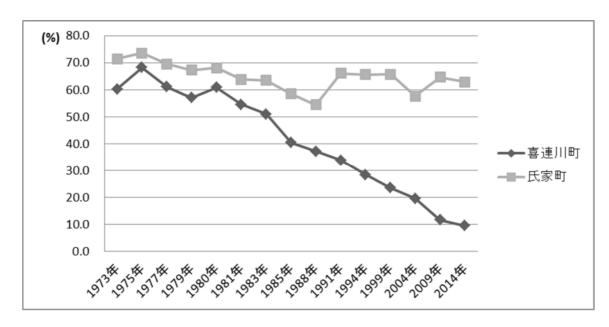
喜連

喜連川町の地元購買率は、1975 (昭和50) 年の68.2%をピークに低下し、10年後の1985 (昭和60) 年には 40.4%になっている。地元購買率の低下はその後も続き、2014 (平成26) 年には10%を切り、9.4%となっている。

対して、氏家町の地元購買率は、1988(昭和 63)年に 54.4%まで下落したものの、その後は持ち直し、2014(平成 26)年には 62.9%となっている。

図表:喜連川町と氏家町の地元購買率の推移(商品総合) (上)表(下)グラフ

															(%)
	1973年	1975年	1977年	1979年	1980年	1981年	1983年	1985年	1988年	1991年	1994年	1999年	2004年	2009年	2014年
訓町	60.2	68.2	61.1	57.0	60.8	54.5	51.0	40.4	37.1	33.8	28.4	23.5	19.6	11.6	9.4
剛	71.4	73.6	69.5	67.3	68.1	63.8	63.5	58.4	54.4	66.0	65.6	65.7	57.6	64.6	62.9



出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成 ※数値は旧市町村単位での調査結果

(1-3) 市町村別·商品別地元購買率

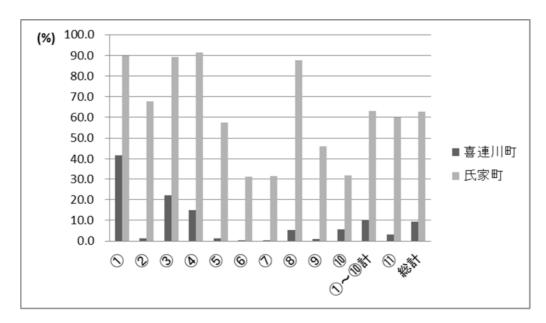
喜連川町の商品別地元購買率をみると、食品が 41.7%で最も高く、次いで日用雑貨・台所用品が22.1%となっている。最寄品の買い物でも、半分以上は地元以外の店舗で行っている。ファッション衣料、装飾品・靴・カバン、スポーツ用品・玩具・CD/DVD に至っては、1%を切っており、地元で購買することはほぼないといえる。

氏家町では、食料品、日用雑貨・台所用品、医薬品・化粧品、書籍・文具の地元購買率は、 90%前後となっている。

図表:喜連川町と氏家町の商品別地元購買率 (上)表(下)グラフ

(%)

													(,0)
	1	2	3	4	(5)	6	7	8	9		①~⑩計	(1)	総計
喜連川町	41.7	1.4	22.1	15.0	1.3	0.4	0.4	5.2	0.9	5.6	10.0	3.2	9.4
氏家町	89.8	67.9	89.1	91.4	57.5	31.0	31.5	87.6	45.9	31.6	63.1	60.1	62.9



※調査品目

- ①食料品
- ②家電製品
- ③日用雑貨·台所用品
- ④医薬品·化粧品
- ⑤日用衣料(普段着)
- ⑥ファッション衣料(外出着)
- ⑦装飾品(時計・アクセサリー)・靴・カバン
- ⑧書籍·文具
- ⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD
- ⑩贈答品
- ⑪外食

(1-4) 地元購買率•流出率

喜連川町の地元購買率・流出率をみると、最寄品は氏家町への流出、買回品は宇都宮市への 流出が多くなっている。また、どの品目においても大田原市、矢板市への流出がみられる。

喜連川町居住の調査対象者においては、食料品を除く全品目で氏家町での購買率が地元購買率を大幅に上回っている。食料品も、氏家町での購買率が地元と 1.1 ポイント差にまで迫っている。

図表:喜連川町の地元購買率・流出率

(%)

							(,
	喜連川町	氏家町	宇都宮市	大田原市	矢板市	西那須野町	その他
①食料品	41.7	40.6	2.1	5.8	7.4	1.3	1.1
②家電製品	1.4	62.8	6.9	15.0	10.2	3.7	_
③日用雑貨·台所用品	22.1	56.7	4.0	7.6	9.3		0.3
④医薬品・化粧品	15.0	65.1	2.4	6.6	8.4		2.5
⑤日用衣料(普段着)	1.3	55.0	23.6	7.9	11.3	1.1	_
⑥ファッション衣料(外出着)	0.4	36.4	42.6	12.7	7.8		0.1
⑦装飾品(時計・アクセサリー)・靴・カバン	0.4	31.4	46.4	10.3	7.3	1.8	2.4
⑧書籍・文具	5.2	73.4	7.1	8.8	5.4		0.1
⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD	0.9	38.0	45.0	6.3	5.7	4.1	_
⑩贈答品	5.6	39.3	35.9	15.3	3.6		0.3
⑪外食	3.2	48.7	21.2	18.6	7.1	0.9	0.3

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成 ※数値は旧市町村単位での調査結果

(1-5) 地元購買率・吸収率

喜連川町の地元購買率・吸収率をみると、他地域から喜連川町へ買い物に来る調査対象者はわずかとなっている。

図表:喜連川町の地元吸収率

(%)

	喜連川町	氏家町	南那須町	馬頭町	小川町
①食料品	41.7	1.0	3.1	0.4	1.3
②家電製品	1.4				
③日用雑貨·台所用品	22.1	0.3	1.2		
④医薬品・化粧品	15.0	0.5	2.3		
⑤日用衣料(普段着)	1.3				
⑥ファッション衣料(外出着)	0.4				
⑦装飾品(時計・アクセサリー)・靴・カバン	0.4				
⑧書籍・文具	5.2				
⑨スポーツ用品・玩具・CD/DVD	0.9	0.8			
⑩贈答品	5.6	0.9	0.4		
⑪外食	3.2	0.6			

(2) 利用店舗形態

店舗形態の利用状況をみると、居住市町村では、専門チェーン店が 40.4%と最も多く、次いで百 貨店・総合スーパー(30.6%)、スーパー(15.3%)となっている。

居住市町村以外では、百貨店・総合スーパーが 46.4%と最も多く、次いで専門チェーン店 (35.3%) となっている。

商品別の店舗形態利用状況をみると、居住市町村で買物する場合は、食料品はスーパー、

家電製品、日用雑貨・台所用品、医薬品・化粧品、日用衣料(普段着)、書籍・文具、スポーツ 用品・玩具・CD/DVDは専門チェーン店、

ファッション衣料 (外出着)、装飾品 (時計、アクセサリー)・靴・カバン、贈答品は百貨店・総合スーパー、

外食は一般商店・飲食店がそれぞれ最も多くなっている。

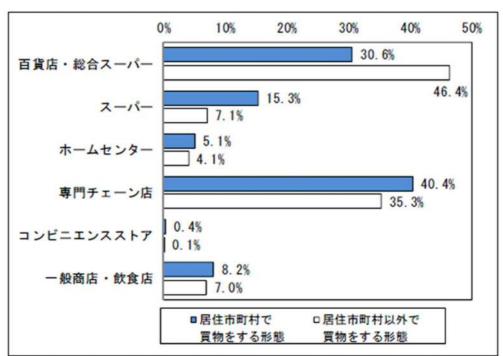
居住市町村以外で買物する場合は、

食料品、日用衣料(普段着)、ファッション衣料(外出着)、装飾品(時計、アクセサリー)・靴・ カバン、書籍・文具、贈答品は百貨店・総合スーパー、

家電製品、医薬品・化粧品、スポーツ用品・玩具・CD/DVDは専門チェーン店、

日用雑貨・台所用品はホームセンター、

外食は一般商店・飲食店がそれぞれ最も多くなっている。



図表:居住·非居住別店舗形態利用状況(11 商品総合)

図表:居住・非居住別店舗形態利用状況(商品別)

		1 1 商品総合	①食料品	②家電製品	③日用雑貨.	④ 医薬品・	⑤日用衣料	⑥ファッション衣料	歌・カバン 歌節品(時計、アクセサリー)・	⑧書籍・文具	・ の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	贈答品	(%) 即 外 食
	百貨店・総合スーパー	30.6	26.4	4.7	15.9	15.6	45.1	58.4	62.9	33.1	24.8	68.9	6.6
= _	スーパー	15.3	67.0	1,5	21.1	11.4	5,3	3.7	3.4	5.3	2.1	10.7	0.6
買物をする	ホームセンター	5.1	1.6	9.8	28.1	5.4	0.7	0.4	0.9	3.4	1.1	0.6	0.1
市町村	専門チェーン店	40.4	1.6	82.3	34.1	65.4	47.6	36.3	30.7	53.1	65.3	14.5	36.5
形	コンビニエンスストア	0.4	1.8	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1	0.3	0.3
態で	一般商店·飲食店	8.2	1.6	1.6	0.6	1.9	1.2	1.2	2.0	4.6	6.6	5.0	55.8
	8+	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	百貨店・総合スーパー	46.4	47.4	5.7	26.0	32.0	60.8	72.6	76.8	50.7	29.5	85.3	11.6
買住	スーパー	7.1	44,6	0.8	14.1	8.9	3.3	1.9	1.5	2.9	1.2	3.1	0.4
190 本	ホームセンター	4.1	3.0	7.2	34.3	7.0	0.5	0.2	0.5	2.8	0.8	0.5	0.2
布町村以外	専門チェーン店	35.3	2.8	85.7	25.0	50.8	34.7	24.5	20.4	41.9	63.7	9.3	40.6
TIS pol	コンビニエンスストア	0.1	1.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
態で	一般商店·飲食店	7.0	1.1	0.5	0.5	1.2	0.7	0.7	0.8	1.6	4.9	1.7	47.1
	R+	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

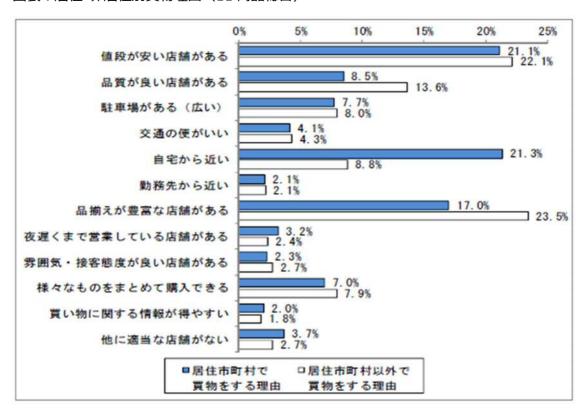
※着色は、居住地・非居住地、商品別で、最も多い店舗形態を示す。

(3) 買物理由

買物理由をみると、居住市町村では、「自宅から近い」が 21.3%と最も多く、次いで「値段が安い店舗がある」(21.1%)、「品揃えが豊富な店舗がある」(17.0%)となっている。

居住市町村以外では、「品揃えが豊富な店舗がある」が 23.5%と最も多く、次いで「値段が安い店舗がある」(22.1%)、「品質が良い店舗がある」(13.6%)となっている。

図表:居住·非居住別買物理由(11商品総合)



図表:居住·非居住別買物理由(商品別)

		1 1 商品総合	①食料品	②家電製品	30日用雑貨,	化粧品.	(普段着)	⑥ファッション衣料	敬装飾品(時計、アクセサリー)・	⑧書籍・文具	玩具・CD/DVD	參體答品	(%) 例外食
	値段が安い店舗がある	21.1	17.8	28.0	27.1	24.5	27.6	20.3	18.1	7.9	13.3	9.0	21.1
居	品質が良い店舗がある	8.5	8.4	4.0	2.8	3.8	8.2	13.2	14.0	4.4	6.8	18.3	11.7
住	駐車場がある(広い)	7.7	7.6	8.0	6.7	5.9	7.3	8.1	7.9	8.6	7.8	7.3	9.3
市町	交通の便がいい	4.1	3.9	4.0	3.5	3.4	2.8	2.8	2.8	4.1	3.2	2.7	5.4
村	自宅から近い	21.3	26.3	20.4	24.4	26.1	17.0	14.2	13.9	24.7	19.4	17.2	22.5
で	動務先から近い	2.1	4.2	0.9	2.5	2.8	1.1	1.0	0.9	1.6	1.1	1.1	0.6
賈	品揃えが豊富な店舗がある	17.0	10.6	19.2	15.0	15.2	20.5	24.5	26.3	26.5	28.0	26.7	7.3
物	夜遅くまで営業している店舗がある	3.2	4.5	1.1	2.4	3.6	1.4	1.4	1.5	6.6	4.1	1.7	4.9
をす	雰囲気・接客態度が良い店舗がある	2.3	1.0	2.9	0.5	1.2	1.1	1.8	1.9	1.2	1.6	2.1	10.2
8	様々なものをまとめて購入できる	7.0	10.1	3.5	10.7	8.6	8.1	7.8	7.3	8.1	6.5	7.2	1.2
理	買い物に関する情報が得やすい	2.0	2.2	3.6	1.9	2.3	2.0	2.0	1.9	1.5	2.6	2.0	0.4
由	他に適当な店舗がない	3.7	3.4	4.4	2.5	2.6	2.9	2.9	3.5	4.9	5.5	4.7	5.4
	8 †	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
居	値段が安い店舗がある	22.1	21.5	30.2	26.7	22.7	222	30.9	13.1	8.2	15.2	6.7	20.7
住	品質が良い店舗がある	13.6	10.1	4.8	3.5	6.4	12.8	17.9	20.5	7.0	10.5	25.0	14.3
市	駐車場がある(広い)	8.0	7.6	7.1	6.7	6.3	6.7	10.1	6.6	8.0	6.3	5.7	9.6
村	交通の便がいい	4.3	5.2	5.1	4.5	4.8	3.5	3.4	2.5	5.4	3.8	2.4	7.5
以	自宅から近い	8.8	6.2	6.6	8.8	8.1	4.5	16.6	3.3	7.1	4.8	3.9	7.0
外	勤務先から近い	2.1	5.7	1.1	4.4	4.8	1.4	2.3	0.7	2.0	1.0	0.9	0.5
で	品揃えが豊富な店舗がある	23.5	18.2	27.6	22.1	24.1	30.3	122	35.5	35.8	37.1	37.8	12.9
真	夜遅くまで営業している店舗がある	2.4	3.7	1.0	2.5	2.9	1.4	0.5	1.3	5.5	2.7	1.5	7.2
物を	雰囲気・接客態度が良い店舗がある	2.7	1.4	3.5	0.5	2.6	2.0	1.0	2.8	1.6	1.7	1.8	12.6
す	様々なものをまとめて購入できる	7.9	16.8	4.6	15.4	12.0	10.5	3.3	8.8	13.3	9.2	8.4	2.0
3	買い物に関する情報が得やすい	1.8	1.8	4.1	1.8	2.7	2.3	0.9	2.0	2.1	3.0	22	0.6
理	他に適当な店舗がない	2.7	1.9	42	3.0	2.7	2.4	0.8	2.8	4.1	4.6	3.8	5.1
由	R†	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

[※]着色は、居住地・非居住地、商品別で、最も多い回答を示す。

(4) 利用交通機関

図表:居住・非居住別利用交通機関

				(%)
	居住市買物をす	The state of the s	居住市町買物をす	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
自家用車	93. 1	92. 9	93. 3	97.7
徒歩・自転車・バイク	5. 4	6. 4	0. 5	0.8
バス	0. 5	0. 4	0. 3	0. 2
鉄道	0. 7	0. 1	4. 2	1.1
その他	0. 3	0. 2	1. 7	0. 2
ät	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地別で、最も多い利用交通機関を示す。

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」 ※数値は旧市町村単位での調査結果

(5) 買物頻度

図表:居住・非居住別買物頻度

(%)

				(/0)
	居住市町 買物をす	THE STATE OF THE S	居住市町 買物をす	
	今回調査	前回調査	今回調査	前回調査
ほぼ毎日	16. 4	7. 7	6. 0	1.9
週に2~3回程度	21. 3	22. 1	8. 9	7.4
週に1回程度	15. 5	27. 4	12. 3	19.0
月に2~3回程度	18. 1	-	20. 4	-
月に1回程度	17. 3	29. 7	26. 6	41.5
年に数回	11.3	13. 1	25. 8	30. 1
計	100.0	100.0	100.0	100.0

※着色は、居住地・非居住地別で、最も多い利用頻度を示す。

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

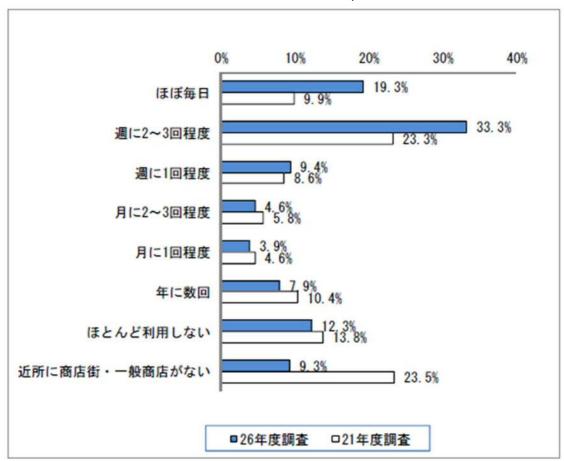
※数値は旧市町村単位での調査結果

(6-1) 商店街・一般商店の利用頻度

近くにある商店街・一般商店(商店街や住宅街で店を構える、精肉店、八百屋、飲食店等の個人商店)の利用頻度をみると、「週に 2~3 回程度」が 33.3%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」 (19.3%) 、「ほとんど利用しない」 (12.3%) となっている。

2009年の前回調査と比較すると、「週に2~3 回程度」が10.0 ポイント、「ほぼ毎日」が9.4 ポイントの上昇となった。栃木県全体では、「近所に商店街・一般商店がない」が、14.2 ポイント低下している。





出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-2) 商店街・一般商店の利用頻度(市町村別)

図表:近くにある商店街・一般商店の利用頻度(喜連川町、氏家町、南那須町)

(%)

			(,0,
	喜連川町	氏家町	南那須町
ほぼ毎日	9.1	13.0	18.3
週に2~3回程度	25.5	17.4	40.8
週に1回程度	14.5	9.4	9.9
月に2~3回程度	7.3	6.5	5.6
月に1回程度	3.6	5.1	5.6
年に数回	32.7	20.3	4.2
ほとんど利用しない	3.6	22.5	9.9
近くに商店街・一般商店がない	3.6	5.8	5.6

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」をもとに作成

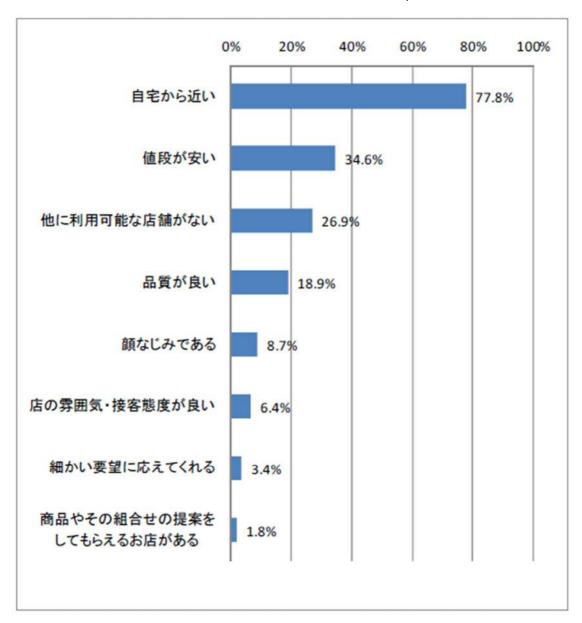
※数値は旧市町村単位での調査結果

(6-3) 商店街・個人商店の買物理由

近くの商店街・一般商店で買物をする理由をみると、「自宅から近い」が 77.8%と最も多く、次いで「値段が安い」(34.6%)、「他に利用可能な店舗がない」(26.9%)となっている。

一方、「店の雰囲気・接客態度が良い」(6.4%)、「細かい要望に応えてくれる」(3.4%)、「商品やその組み合わせの提案をしてもらえるお店がある」(1.8%)など、本来であれば商店街や一般商店の強みとなり得る項目が低率となっている。

図表:近くの商店街・一般商店で買物をする理由(全体)(n=11,090、2つまで選択)



出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-4) 商店街・個人商店の買物理由(市町村別)

図表:近くにある商店街・一般商店で買物する理由(喜連川町、氏家町、南那須町)

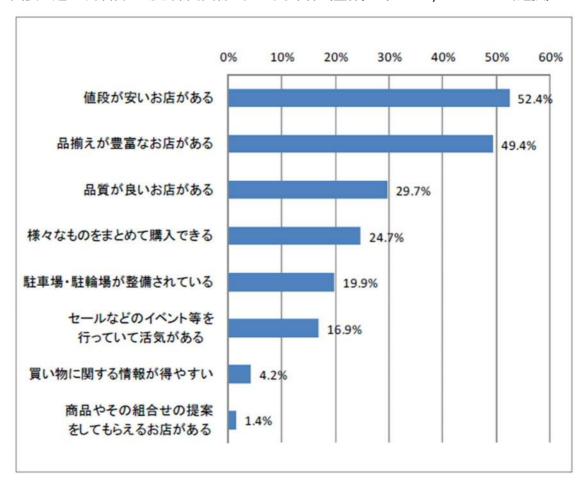
(%)

	喜連川町	氏家町	南那須町
値段が安い	15.4	27.4	21.5
品質が良い	5.8	27.4	9.2
商品やその組合せの提案をしてもらえるお店がある	1.9	3.5	_
店の雰囲気・接客態度が良い	5.8	5.3	3.1
顔なじみである	23.1	7.1	13.8
自宅から近い	71.2	62.8	75.4
細かい要望に応えてくれる	7.7	7.1	_
他に利用可能な店舗がない	48.1	33.6	52.3

(6-5) 商店街・一般商店で買物をしたくなる条件

近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件をみると、「値段が安いお店がある」が 52.4%で最も多く、次いで「品揃えが豊富なお店がある」(49.4%)、「品質が良いお店がある」(29.7%)となっている。

図表:近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件(全体) (n=12,173、2つまで選択)



出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

(6-6) 商店街・一般商店で買物をしたくなる条件(市町村別)

喜連川町居住の調査対象者による、近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件をみると、「品揃えが豊富なお店がある」が 65.5%で最多となっている。品揃えに対するニーズが高いことが窺える。

図表:近くの商店街・一般商店で買物をしたくなる条件(喜連川町、氏家町、南那須町)

(%)

	喜連川町	氏家町	南那須町
値段が安いお店がある	58.2	47.4	67.6
品質が良いお店がある	10.9	22.6	33.8
品揃えが豊富なお店がある	65.5	44.4	54.9
商品やその組合せの提案をしてもらえる	1.8	_	1.4
駐車場・駐輪場が整備されている	18.2	39.8	9.9
様々なものをまとめて購入できる	29.1	21.8	25.4
セールなどのイベント等を行っていて活気がある	12.7	16.5	11.3
買い物に関する情報が得やすい	_	5.3	4.2

3. 市町村別購買動向

(1) 県内購買率占有率

「地域購買動向調査(『お買い物しらべ』)報告書」では、県内 12 市に、県全体の購買率に占める当該市町村の購買率(地元購買率と吸収率の和)が 3.0%以上となる 2 町(氏家町、西那須野町)を加えた計 14 市町については、商圏等の分析も行っている。

以下は、喜連川町からの購買吸収率が高い、氏家町に関する調査結果である。

なお、消費者の買物動向を詳細に把握する目的から、調査は全て旧市町村単位となっている。

図表:県内購買率占有率(11 商品総合)

	地元 購買率	吸収率	合計	県全体の購買率 に占める比率
1.宇都宮市	97.2	1,024.2	1,121.4	22.9
2.足利市	79.9	21.4	101.4	2.1
3.栃木市	75.5	200.6	276.1	5.6
4.佐野市	89.7	241.5	331.2	6.8
5.鹿沼市	64.2	52.8	117.0	2.4
6.日光市	9.7	9.4	19.0	0.4
7.今市市	68.4	299.8	368.2	7.5
8.小山市	84.6	130.2	214.8	4.4
9.真岡市	68.1	113.2	181.3	3.7
10.大田原市	74.3	279.0	353.3	7.2
11.矢板市	56.9	43.4	100.4	2.0
12.黒磯市	80.7	102.1	182.8	3.7
13.氏家町	62.9	183.0	245.9	5.0
14.西那須野町	66.7	120.2	186.9	3.8

(2) 総購買人口等の変化

図表:総購買人口等の変化(11 商品総合)

(%、人)

		地元	地元	nt do 1 m	1	総購買人口		本山し口
	人口	購買率	購買人口	吸収人口	今回	前回	増減	流出人口
1.宇都宮市	473,962	97.2	460,459	269,136	729,595	686,348	43,247	13,505
2.足利市	153,476	79.9	122,666	6,588	129,254	143,119	▲ 13,865	30,811
3.栃木市	80,077	75.5	60,448	32,713	93,161	103,261	▲ 10,100	19,629
4.佐野市	84,307	89.7	75,625	57,569	133,194	126,140	7,054	8,684
5.鹿沼市	91,901	64.2	59,013	8,575	67,588	75,955	▲ 8,367	32,886
6.日光市	13,972	9.7	1,350	556	1,906	1,517	389	12,623
7.今市市	60,635	68.4	41,462	23,003	64,465	71,393	▲ 6,928	19,173
8.小山市	165,641	84.6	140,157	33,147	173,304	171,328	1,976	25,487
9.真岡市	65,437	68.1	44,541	22,293	66,834	86,913	▲ 20,079	20,894
10.大田原市	55,606	74.3	41,326	38,083	79,409	97,569	▲ 18,160	14,281
11.矢板市	34,186	56.9	19,468	5,771	25,239	33,412	▲ 8,173	14,720
12.黒磯市	62,131	80.7	50,148	25,053	75,201	72,216	2,985	11,983
13.氏家町	33,473	62.9	21,048	27,771	48,819	41,953	6,866	12,427
14.西那須野町	48,707	66.7	32,504	21,509	54,013	36,041	17,972	16,203

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」

※数値は旧市町村単位での調査結果

(3) 商圏及び影響圏構成市町村の変化

氏家町の商圏は、2009 (平成 21) 年前回調査の 4 町から 2 町増加し、6 町で構成されている。

図表: 商圏及び影響圏構成市町村の変化

					商圈						影響图	8	
	第1次商圏		第23	第2次商圈		第3次商圈		合計		数		増減	
1.宇都宮市	13	(11)	9	(6)	7	(12)	29	(29)	0	16	(14)	2	
2.足利市	0	(0)	0	(0)	0	(1)	0	(1)	A 1	3	(2)	1	
3.栃木市	2	(3)	2	(1)	1	(2)	5	(6)	A 1	4	(5)	A 1	
4.佐野市	4	(4)	0	(0)	1	(0)	5	(4)	1	6	(6)	0	
5.鹿沼市	1	(1)	0	(0)	0	(1)	1	(2)	A 1	5	(4)	1	
6.日光市	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	2	(1)	1	
7.今市市	4	(4)	0	(0)	1	(1)	5	(5)	0	1	(1)	0	
8.小山市	1	(1)	1	(1)	2	(2)	4	(4)	0	10	(8)	2	
9.真岡市	1	(2)	1	(1)	2	(3)	4	(6)	A 2	3	(2)	1	
10.大田原市	4	(4)	0	(2)	3	(2)	7	(8)	A 1	5	(5)	0	
11.矢板市	0	(1)	1	(0)	0	(1)	1	(2)	A 1	3	(3)	0	
12.黒磯市	1	(1)	0	(0)	2	(2)	3	(3)	0	6	(4)	2	
13.氏家町	2	(2)	2	(1)	2	(1)	6	(4)	2	4	(6)	▲ 2	
14.西那須野町	1	(1)	0	(0)	2	(0)	3	(1)	2	8	(5)	3	

※()内は前回

(4-1) 氏家町の購買人口

図表:氏家町の地元購買人口、吸収人口、総購買人口

				(人)
		今回	前回	差引
①地元	購買人口	21,048	20,671	377
②吸収	八口	27,771	21,282	6,489
	第1次商圏	8,698	8,099	599
商圏	第2次商圏	9,442	7,914	1,528
	第3次商圏	2,309	1,170	1,139
	影響圏	6,247	3,527	2,720
そ	の他の地域	1,075	572	503
総購買	人口(①+②)	48,819	41,953	6,866
	The second secon			

出典:栃木県「平成 26 年度 地域購買動向調査報告書」 ※数値は旧市町村単位での調査結果

(4-2) 商品別買物地区

氏家町居住者の商品別買物地区をみると、最寄品の地元購買率は高いものの、ファッション衣料 (外出着)、装飾品 (時計、アクセサリー)・靴・カバン、贈答品等の買回品については、宇都宮市への流出が多くなっている。

図表:氏家町居住者の商品別買物地区

	地元購買率	1	2	3
①食料品	89.8%	氏家町·国道293号線周辺(47.9%)	氏家町·国道4号線周辺(37.8%)	氏家町・旧氏家町その他(4.1%)
②家電製品	67.9%	氏家町·国道293号線周辺(56.0%)	宇都宮市·宇都宮駅東側(15.7%)	氏家町·旧氏家町その他、宇都宮市·旧宇都宮市中心部(8.1%)
③日用雑貨・台所用品	89.1%	氏家町·国道293号線周辺(53.0%)	氏家町·国道4号線周辺(31.3%)	氏家町・旧氏家町その他(4.7%)
⑥医薬品・化粧品	91.4%	氏家町·国道293号韓周辺(59.8%)	氏家町·国道4号線周辺(25.2%)	氏家町・旧氏家町その他(6.4%)
5日用衣料	57.5%	氏家町·国道4号線周辺(30.8%)	氏家町·国道293号線周辺(24.5%)	字都宮市・インターバーク周辺(14.9%)
⑥ファッション衣料	31.0%	宇都宮市・インターバーク周辺(22.8%)	氏家町·国道293号線周辺(16.2%)	宇都宮市·競輪場通り周辺(14.8%)
⑦装飾品・靴・かいン	31.5%	氏家町・原道200号雑周辺、宇都宮市・インターバーク周辺(2035)	宇都宮市·競輪環通り周辺(17.4%)	字都宮市·宇都宮駅東側(12.0%)
⑧ 書籍・ 文具	87.6%	氏家町·国道293号線周辺(74.2%)	氏家町·国道4号線周辺(8.7%)	氏家町・旧氏家町その他(4.7%)
③スポーツ用品・玩具・CD/DVD	45.9%	氏家町·国道293号線周辺(32.9%)	宇都宮市·宇都宮駅東側(16.2%)	宇都宮市・旧宇都宮市中心部(10.7%)
印贈答品	31.6%	宇都宮市・競輪場通り周辺(25.7%)	氏家町·国道293号線周辺(18.7%)	宇都宮市・インターバーク周辺(16.0%)
①外食	60.1%	氏家町·国道293号線周辺(30.4%)	氏家町·国道4号線慶辺(26.3%)	宇都宮市・インターパーク周辺、宇都宮市・宇都宮駅東側(83%)

※着色は、地元以外の買物地区を示す。

(4-3) 氏家町の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳

図表:氏家町の地元購買人口、吸収人口、総購買人口内訳(11 商品総合)

				今回			前開		
E	st	市町村	ÅΠ	地元購買率 又は 吸収率	地元購買人口 又は 吸収人口 (A)	ĻΠ	地元購買率 又は 吸収率	地元購買人口 又は 吸収人口 (B)	差引 (A)-(B)
居住市	面料	氏家町	33,473	62.9	21,048	31,978	64.6	20,671	377
第1次商圏	吸収率	書連川町	10,850	50.1	5,436	11,305	41.3	4,671	765
	30%以上	上河内町	10,011	32.6	3,262	9,857	34.8	3,428	A 166
		#	20,861	41.7	8,698	21,162	38.3	8,099	599
第2次商圈	吸収率	南部須町	11,779	26.9	3,171	12,642	23.1	2,922	249
	20%以上 30%未満	高极沢町	30,141	20.8	6,271	30,642	16.3	4,992	1,279
	10.0 10.00	8 +	41,920	22.5	9,442	43,284	18.3	7,914	1,528
第3次商圈	吸収率	塩谷町	12,313	12.6	1,553	13,340	6.5	872	681
	10%以上 20%未満	小川町	6,451	11.7	756	6,857	4.4	298	458
		2 +	18,764	12.3	2,309	20,197	5.8	1,170	1,139
影響團	吸収率 1%以上 10%未満	矢板市	34,186	9.6	3,292	35,324	3.1	1,083	2,209
		島山町	16,867	6.6	1,108	17,945	4.1	737	371
	11 10 1 10 10 10 10 10	馬頭町	11,664	6.5	753	12,637	4.0	505	248
		河内町	35,374	3.1	1,094	35,284	3.4	1,202	▲ 108
		8 +	98,091	6.4	8,247	101,190	3.5	3,527	2,720
その他の	1%未濟	湯津上村	4,700	1.0	47	5,090	0.0	0	47
地域	(0%除く)	芳賀町	16,159	0.7	109	16,813	0.5	82	27
		今市市	60,635	0.3	193	62,515	0.0	1	192
		市員町	12,190	0.2	23	12,581	0.0	0	23
		宇都宮市	473,962	0.1	619	460,637	0.1	396	223
		日光市	13,972	0.1	15	15,433	0.0	0	15
		魔沼市	91,901	0.0	33	93,362	0.0	5	28
		大田原市	55,606	0.0	12	55,062	0.1	63	▲ 51
		藤原町	9,270	0.0	2	10,197	0.0	0	- 1
		西部須野町	48,707	0.0	9	46,230	0.0	0	9
		黒磯市	62,131	0.0	11	61,668	0.0	25	▲ 14
		小山市	165,641	0.0	2	158,894	0.0	0	2
<u></u>		2 H	1,014,874	0.1	1,075	998,482	0.1	572	500
	合計		1,227,983	4.0	48,819	1,216,293	3.4	41,953	6,866

(4-4) 氏家町の商圏等の変化

氏家町の商圏は、6 町で構成されている。

第1次商圏は、前回同様の2町(喜連川町、上河内町)で構成されている。

第2次商圏は、2町(南那須町、高根沢町)で構成され、前回、第3次商圏を構成していた 高根沢町が第2次商圏へ上昇している。

第 3 次商圏は、2 町(塩谷町、小川町)で構成され、前回、影響圏を構成していた塩谷町、 小川町の2 町が第3 次商圏へ上昇している。

影響圏は、1 市 3 町 (矢板市、烏山町、馬頭町、河内町)で構成されている。

図表:氏家町の商圏等の変化(11 商品総合)

区分		市町村	今回 吸収率 (A)	斯回 吸収率 (B)	差引 (A)-(B)	商圏等の変化
居住	市町村	氏家町	62.9	64.6	▲ 1.8	-
第1次商圏	吸収率 30%以上	害達川町	50.1	41.3	8.8	-
	30% L	上河内町	32.6	34.8	▲ 2.2	-
第2次商團	吸収率	南那須町	26.9	23.1	3.8	-
	20%以上 30%未満	高根沢町	20.8	16.3	4.5	拡大(第3次商園→第2次商園)
第3次商圈	吸収率	塩谷町	12.6	6.5	6.1	拡大(影響圈→第3次商圏)
	10%以上 20%未満	小川町	11.7	4.4	7.4	拡大(影響圈→第3次商圏)
影響圈	吸収率	矢板市	9.6	3.1	6.6	-
	196以上	烏山町	6.6	4.1	2.5	-
	10%未満	馬頭町	6.5	4.0	2.5	-
		河内町	3.1	3.4	▲ 0.3	-
その他の	1%未滿	湯津上村	1.0	0.0	1.0	-
地域	(0%除く)	芳賀町	0.7	0.5	0.2	-
		今市市	0.3	0.0	0.3	=
		市貝町	0.2	0.0	0.2	-
		宇都宮市	0.1	0.1	0.0	-
		日光市	0.1	0.0	0.1	-
		鹿沼市	0.0	0.0	0.0	=
		大田原市	0.0	0.1	▲ 0.1	-
		藤原町	0.0	0.0	0.0	-
		西那須野町	0.0	0.0	0.0	-
		黒磯市	0.0	0.0	▲ 0.0	-
		小山市	0.0	0.0	0.0	-
地元購買2	丰+吸収率		245.9	206.3	39.6	

(4-5) 氏家町の商品別商圏等

商品別にみると、食料品、日用雑貨・台所用品、日用衣料(普段着)等で構成市町村数が多く、主に喜連川町、上河内町、南那須町、高根沢町等で商圏を構成している。

吸収人口でみると、書籍・文具が 35,802 人で最も多く、次いで家電製品 (35,798 人)、日 用雑貨・台所用品 (35,278 人) 等となっている。

図表:氏家町の商品別商圏等(1)

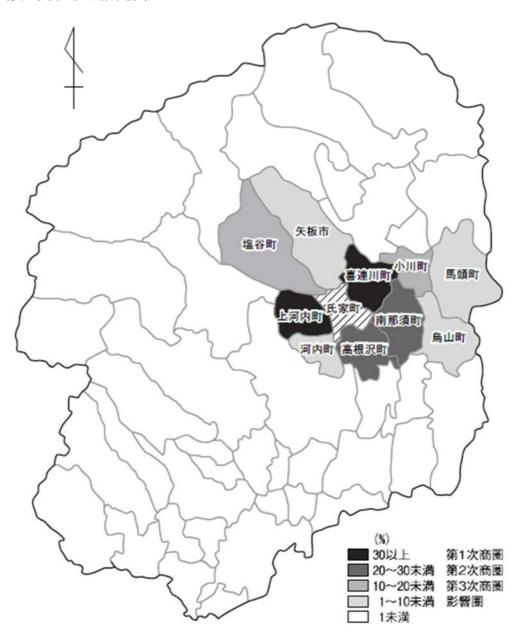
	11商品製	11商品報合		①食料品		製品		③ 臼用雑貨・ 台所用品		4. 4.	\$BA (#8	
区分	市町村	地元 講賞本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 講賞本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 講賞本 又は 吸収率
居住地	氏家町	62.9	氏家町	89.8	氏家町	67.9	氏家町	89.1	氏家町	91.4	氏家町	57.
第1次商圈	喜連川町	50.1	喜連川町	40.6	喜連川町	62.8	喜連川町	56.7	喜連川町	65.1	喜連川町	55.
吸収率	上河内町	32.6	上河内町	33.4	南那須町	42.6	上河内町	46.8	上河内町	54.5	上河内町	37.
30%以上					上河内町	34.3	南那須町	31.2	南那須町	39.6	南那須町	33.
					高模沢町	31.7						
第2次商團	南那須町	26.9	高根沢町	24.5			高程沢町	28.3			高模沢町	24.
吸収率	高根沢町		南那須町	21,3								
20%以上												
30%未滿												
第3次商團	雄谷町	12.6	性公町	17.2	矢板市	15.3	塩谷町	17.6	塩谷町	191	推谷町	15.
吸収率	小川町	11.7	小川町		堆谷町		矢板市		高程沢町	17.7	小川町	14
10%以上	777		矢板市	10.7	-		小川町	10.2		1	矢板市	11.
20%未満			A 8.0				1111-1	1.4.			島山町	10.
影響團	矢板市	9.6	河内町	67	馬頭町	77	馬頭町	8.3	小川町	8.4	馬田町	8.
吸収率	島山町		島山町		小川町	7.6			矢板市		河内町	4
1%以上	馬頭町		馬頭町		島山町		河内町		馬頭町		芳賀町	1.
10%未滿	河内町		芳賀町		河内町		漫津上村		島山町	5.1	// 8-1	<u> </u>
1010010	rjrjej	4.1	日光市		漫津上村		芳賀町	_	河内町	2.2		
			M/U/U	- 1.1	施作士口		市員町		温津上村	14		
		\vdash					987	1.0	/阿尔士17	1.7		
その他の地域	漫津上村	1.0	市員町	0.7	芳賀町	0.9	今市市	0.9	市員町	0.3	字都宮市	0.
1%未満	芳賀町		今市市		今市市		字都宮市		今市市		今市市	0.
(0%除く)	今市市		漫津上村		字都宮市		黒磯市		字都宮市		鹿沼市	0
(a salet c)	市員町	_	字都常市		西那須野町		療河市	0.1	7 80 0	-	The state of	_
	字都宮市		藤原町	0.2		-	Mary P	_				
	日光市	_	度沒市	0.1								
	度沼市	_	大田原市	0.1								
	大田原市		黑禮市	0.1								
	高原町		西部須野町	0.0								
	西那須野町	0.0	Sea All Property and	0.0								
	黑磯市	0.0										
	小山市	0.0										
を元間質人口(人)	7-149	21,048		30,068		22,717		29,814		30,596		19.23
を収入口(人)		27,771		30,561		35,798		35,278		30,486		33,67
と課買人口(人)		48,819		60,629		58,515		65,092		61,082		52.90

図表:氏家町の商品別商圏等(2)

をファッシ (外台		②装 (時数,79 R-2	セナリー)・	848	文異	92.6 − 仮具・CC		(6)88	¥#	0~8	計	081	t
市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率	市町村	地元 建資本 又は 吸収率
氏家町	31,0	氏家町	31.5	氏家町	87.6	氏家町	45.9	氏家町	31.6	氏家町	63.1	氏家町	60.
E A HET	35.4	事連川町	31.4	喜連川町	73.4	喜連川町	38.0	真違川町		基連川町	50.2	喜連川町	48.
				上河内町	47.1					上河内町	32.1	上河内町	37
				南那須町	30.8								
				高程沢町	30.2)					
上河内町	21.4	由驱逐町	20.1							南那須町	27.1	南那須町	25
										高根沢町	21.2		
南部須町	17.3	上河内町	150	小川町	10.0	上河内町	100	密花須町	150	進谷町	102	高線突動	17
高程決計		小川町		塩谷町		南部須町		上河内町		小川町	11.2		17.
未保衣司 小川町		事機沢町	12.9	値が利	10.1	高根沢町	15.3	THUN	10.0	小川町	1114	塩谷町	13
4-11[#]	17.7	国気の利	16.0		1	用饭()	19.0	_				失板市	11.
矢板市	01	失板市	- 00	失板市	0.0	塩谷町	0.1	高模沢町	0.4	矢板市	0.4	島山町	6
大 <u>板中</u> 島山町		塩谷町 塩谷町		島山町		島山町		島山町		島山町	6.6		6.
馬田町		馬頭町		馬田田		馬頭町		矢板市		馬頭町		河内町	2
塩谷町		島山町		河内町		矢板市		小川町		河内町	3.2		-
河内町	_	河内町	2.5	eine.	6.0	小川町	_	塩谷町		温津上村	1.1	-	_
rine.	3.1	海洋上村	24		1	河内町		馬頭町	2.3		1.1		\vdash
	-	芳賀町	1.0		_	ana	1.5	河内町	12			-	\vdash
漫津上村	10	カ東町 今市市		漫准上村	10	芳賀町	0.1	今市市		芳賀町	0.0	芳賀町	1
今市市		ラルル 字都宮市		液净工行 芳賀町		万真町 今市市		字都宮市		方真可 今市市		方真町 今市市	0.
ブロロ 芳賀町	0.3	十個香印	V.1	ク 東部官市		字都宮市	0.0	_	4.0	市員町		大田原市	0
度溶市	0.1			工程の中	0.1	工製 直印	9.0		_	字都宮市		字都宮市	0.
京都宮市	0.1	-		今市市	0.1		_			日光市		于整点中 西部須野町	0.
大田原市	0.0	\vdash		100	9.1					度沼市		小山市	0
人田原印	- 0.0				+		-	1	_	施用中 藤原町	0.0	THU	V.
	-						_			異種市	0.0		
										西部須野町	0.0		
										大田原市	0.0		
	10,352		10,550		29,307		15,374		10,575				
	20,988		20,038		35,802		19,220		13,526		27,771		27,77
	31,350		30,588		65,109		34,594		24,101		48,909		47,87

(4-6) 氏家町の商圏

図表:氏家町の商圏地図



Ⅱ. コンタ君カードに対する評価

1. コンタ君カード加盟事業者アンケート

(1) 調査の概要

調査目的

喜連川商工会では、喜連川地域商業の活性化に向けてポイントカード(コンタ君カード)事業 の有効活用を図ることを目的に、コンタ君カードの効果等についてアンケート調査を行った。

調査時期

平成 28 年 10 月

調査方法

調査対象:コンタ君カード加盟事業者 31事業者

調査方法:商工会職員がコンタ君カード加盟事業者にアンケート用紙を配布し、加盟事業者

が記入

調査結果の表記について

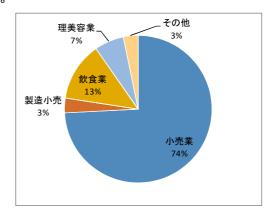
集計結果は、各設問の標本数を 100%とした百分比(%)で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。

(2-1) コンタ君カード加盟事業者の状況

Q1.業種

小売業が 74.2%と、4 分の3 近くを占めている。

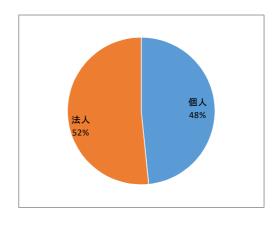
業種	回答数	割合
小売業	23	74.2%
製造小売	1	3.2%
製造業	0	0.0%
飲食業	4	12.9%
宿泊業	0	0.0%
不動産業	0	0.0%
理美容業	2	6.5%
サービス業	0	0.0%
建設·建築業	0	0.0%
その他	1	3.2%
計	31	100.0%



Q2.経営形態

個人と法人が約半々である。

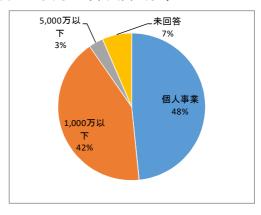
経営形態	回答数	割合
個人	15	48.4%
法人	16	51.6%
計	31	100.0%



Q3.資本金

資本金が1,000万円を超えているのは、1事業者のみである。(未回答を除く)

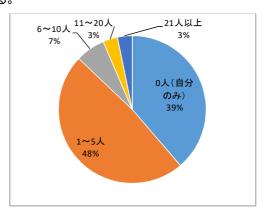
資本金	回答数	割合
個人事業	15	48.4%
1,000万以下	13	41.9%
5,000万以下	1	3.2%
未回答	2	6.5%
計	31	100.0%



Q4.従業員数

従業員数5人以下の事業者が87.1%を占める。

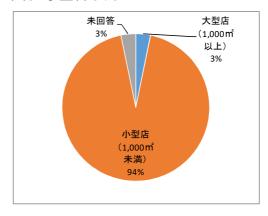
従業員数	回答数	割合
0人(自分のみ)	12	38.7%
1~5人	15	48.4%
6~10人	2	6.5%
11~20人	1	3.2%
21人以上	1	3.2%
21人以上	31	100.0%



Q5.店舗の規模

1事業者を除いては、全て店舗面積が1,000㎡未満の小型店である。

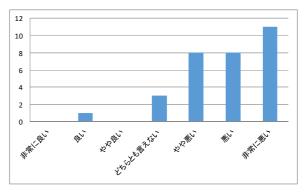
店舗の規模	回答数	割合
大型店(1,000㎡以上)	1	3.2%
小型店(1,000㎡未満)	29	93.5%
未回答	1	3.2%
計	31	100.0%



Q6.喜連川地域の景況感

「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」を合わせると 87.1%となり、9 割近くの事業者が喜連川地域の景気について悲観している。

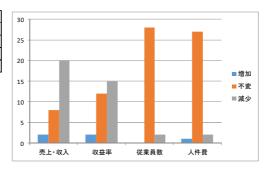
喜連川地域の景況感	回答数	割合
非常に良い	0	0.0%
良い	1	3.2%
やや良い	0	0.0%
どちらとも言えない	3	9.7%
やや悪い	8	25.8%
悪い	8	25.8%
非常に悪い	11	35.5%
計	31	100.0%



Q7.売上等の状況(前年との比較)

売上・利益が前年より減少した事業者は 64.5%、さらに、収益率も減少した事業者は 48.4% となっている。

自社の状況	増加	不変	減少	未回答
売上・収入	2	8	20	1
収益率	2	12	15	2
従業員数	0	28	2	1
人件費	1	27	2	1

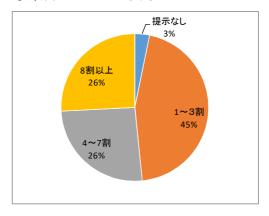


(2-2) コンタ君カードの活用状況

Q8.コンタ君カードを提示するお客様の割合(1ヶ月間の平均)

お客様の8割以上がコンタ君カードを提示するという事業者は、25.8%である。

お客様のカード提示割合	回答数	割合
提示なし	1	3.2%
1~3割	14	45.2%
4~7割	8	25.8%
8割以上	8	25.8%
計	31	100.0%

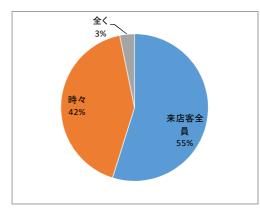


Q9.「コンタ君カードをお持ちですか?」と声をかける頻度

来店客全員に声をかけているという事業者が半数以上である。

また、お客様の8割以上がコンタ君カードを提示するという事業者の100%が、来店客全員に声をかけている。お客様に声をかけることは、コンタ君カードの加入数や提示数の増加に一定以上の効果があると考えられる。

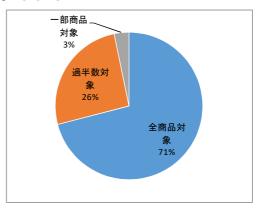
カード提示の声かけ	回答数	割合
来店客全員	17	54.8%
時々	13	41.9%
全〈	1	3.2%
計	31	100.0%



Q10.ポイント対象範囲

7割以上の事業者が、全商品をポイント付与の対象としている。

ポイント対象商品	回答数	割合
全商品対象	22	71.0%
過半数対象	8	25.8%
一部商品対象	1	3.2%
計	31	100.0%



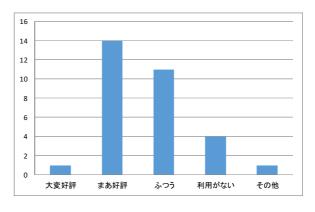
(2-3) コンタ君カードに対する評価

Q11.コンタ君カードに対するお客様の反応

一番多い反応が「まあ好評」、次に多いのが「ふつう」である。

景品の内容・交換時期等の見直しを含め、お客様にコンタ君カードの魅力を感じてもらえるような さらなる対策が必要であるといえる。

お客様の反応	回答数	割合
大変好評	1	3.2%
まあ好評	14	45.2%
ふつう	11	35.5%
利用がない	4	12.9%
その他	1	3.2%
計	31	100.0%



※自由記述

「利用がない」について

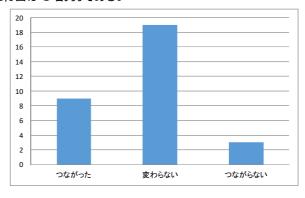
「(お客様の反応が)あまりよくない」(3件)

「その他」について

「景品交換について考えてほしいとの意見がある(年2回のみでなく)」

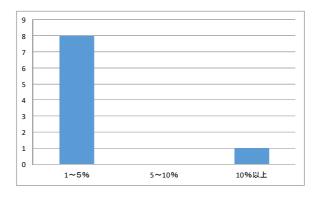
Q12.コンタ君カード加盟店となったことで売上の増加につながっているか 売上増加の効果があったと感じている事業者は3割弱である。

加盟が売上増加につながったか	回答数	割合
つながった	9	29.0%
変わらない	19	61.3%
つながらない	3	9.7%
計	31	100.0%



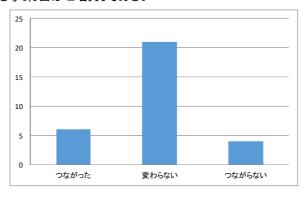
Q13. (Q12 で「つながった」と答えた事業者) 前年度より売上は何パーセント増加したか 加盟が売上増加につながったと答えた事業者のうち、1 事業者を除いては、売上増加率 5%以下である。

対前年度売上増加率	回答数	割合
1~5%	8	88.9%
5~10%	0	0.0%
10%以上	1	11.1%
計	9	100.0%



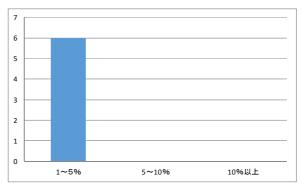
Q14.コンタ君カード加盟店となったことで新規のお客様確保につながったか 新規顧客獲得の効果があったと感じている事業者は 2 割弱である。

加盟が新規客確保につながったか	回答数	割合
つながった	6	19.4%
変わらない	21	67.7%
つながらない	4	12.9%
計	31	100.0%



Q15. (Q14 で「つながった」と答えた事業者) 前年度より新規顧客は何パーセント増加したか 加盟が新規客確保につながったと答えた全事業者が、顧客増加率 5 %以下である。

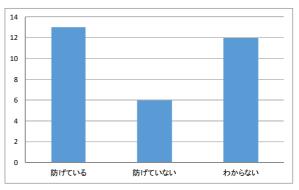
対前年度顧客増加率	回答数	割合
1~5%	6	100.0%
5~10%	0	0.0%
10%以上	0	0.0%
計	6	100.0%



Q16.コンタ君カード加盟店となることで既存顧客の流出を防げているか

コンタ君カード加盟店となることで既存顧客の流出を防げていると感じている事業者は、半数以下である。

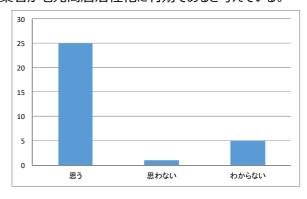
加盟で既存顧客流出を防げているか	回答数	割合
防げている	13	41.9%
防げていない	6	19.4%
わからない	12	38.7%
計	31	100.0%



Q17.コンタ君カードは地元商店の活性化に有効な事業だと思うか

コンタ君カード事業については、8割の事業者が地元商店活性化に有効であると考えている。

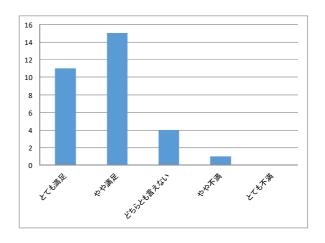
地元商店活性化に有効な事業だと思うか	回答数	割合
思う	25	80.6%
思わない	1	3.2%
わからない	5	16.1%
計	31	100.0%



Q18.コンタ君カードのデザインに満足しているか

「とても満足」「やや満足」を合わせると 83.9%で、カードのデザインについては、特段の不満はないといえる。

カードのデザイン	回答数	割合
とても満足	11	35.5%
やや満足	15	48.4%
どちらとも言えない	4	12.9%
やや不満	1	3.2%
とても不満	0	0
計	31	100.0%



(3) まとめ

コンタ君カード加盟事業者は、カード事業が地元商店の活性化につながることを期待している。

しかし、現在のところは、売上増加、新規顧客獲得、既存顧客流出防止について、加盟による明確な効果を感じるには至っていないといえる。

コンタ君カードについて、特典の充実、加盟店の増加、利便性の向上等を図ることにより、お客様にとっての利用価値をさらに高めていく必要があるといえる。

また、加盟事業者には、対象商品の拡充やお客様への声かけ等で協力してもらい、一緒にカード事業を盛り上げていってもらうことが望ましい。

2. コンタ君カード利用者アンケート

(1) 調査の概要

調查目的

喜連川商工会では、喜連川地域商業の活性化に向けてポイントカード(コンタ君カード)事業 の有効活用を図ることを目的に、コンタ君カードの利用状況についてアンケート調査を行った。

調査期間

平成 28 年 11 月~12 月

調査方法

調査対象: コンタ君カード利用者 115人

調査方法:商工会職員がコンタ君カード加盟事業者にアンケート用紙を配布、加盟事業者が

店頭にてコンタ君カード利用客に手渡し、利用客が記入

調査結果の表記について

集計結果は、各設問の標本数を 100%とした百分比(%)で表し、小数点第 2 位を四捨五入している。

未回答を除いて集計しているため、回答数は設問ごとに異なっている。

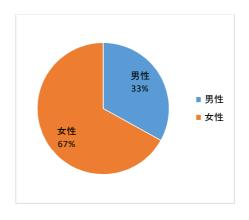
Q3 について、2 店舗挙げている回答は、Q2 での回答が3 店舗以上ある場合にのみカウントしている。3 店舗以上挙げている回答は無効としている。

(2-1) コンタ君カード利用者の状況

○性別

回答者は、女性が67.0%と、3分の2を占めている。

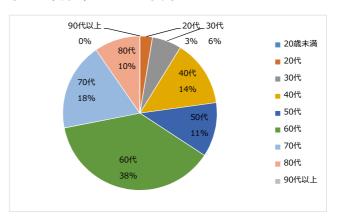
分類	回答数	割合	
男性	37	33.0%	
女性	75	67.0%	
計	112	100.0%	



○年代

回答者は、60代以上が65.8%を占める。30代以下は8.8%である。

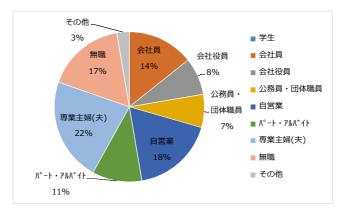
分類	回答数	割合
20歳未満	0	0.0%
20代	3	2.6%
30代	7	6.1%
40代	16	14.0%
50代	13	11.4%
60代	43	37.7%
70代	21	18.4%
80代	11	9.6%
90代以上	0	0.0%
計	114	100.0%



○職業

最も多いのが専業主婦(夫)、次いで自営業者、無職となっている。

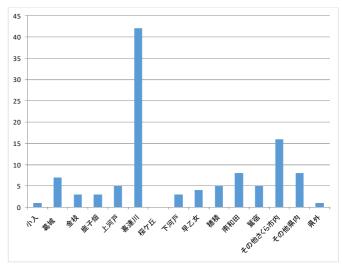
職業	回答数	割合
学生	0	0.0%
会社員	16	14.3%
会社役員	9	8.0%
公務員·団体職員	8	7.1%
自営業	20	17.9%
八° -ト・アルハ゛イト	12	10.7%
専業主婦(夫)	25	22.3%
無職	19	17.0%
その他	3	2.7%
計	112	100.0%



○居住地区

居住地区は喜連川が37.8%で、近隣住民の利用が主である。

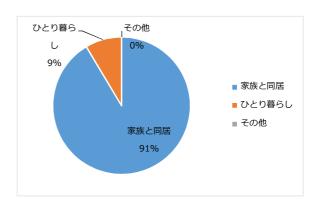
分類	回答数	割合
小入	1	0.9%
葛城	7	6.3%
金枝	3	2.7%
鹿子畑	3	2.7%
上河戸	5	4.5%
喜連川	42	37.8%
桜ケ丘	0	0.0%
下河戸	3	2.7%
早乙女	4	3.6%
穂積	5	4.5%
南和田	8	7.2%
鷲宿	5	4.5%
その他さくら市内	16	14.4%
その他県内	8	7.2%
県外	1	0.9%
計	111	100.0%



○世帯構成

家族と同居している人が9割以上である。

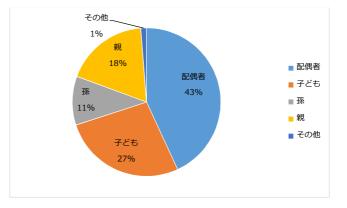
分類	回答数	割合
家族と同居	96	91.4%
ひとり暮らし	9	8.6%
その他	0	0.0%
計	105	100.0%



○同居家族

配偶者との2人暮らし、配偶者と子どもとの同居のほか、多世代での同居も多いことが窺える。

分類	回答数	割合
配偶者	69	43.1%
子ども	43	26.9%
孫	17	10.6%
親	29	18.1%
その他	2	1.3%
計	160	100.0%



Q1.買い物の頻度

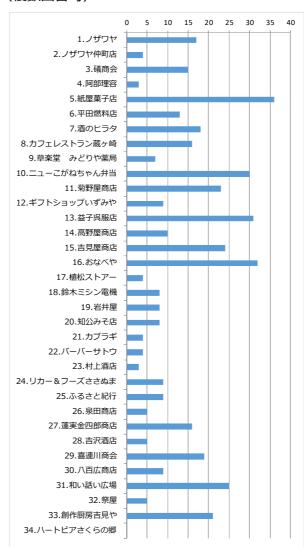
酒類・嗜好品の買い物は、「週1回」(20人)が最も多いが、「買わない」(15人)という人も多い。

分類	毎日	週4~5回	週2~3回	週1回	月に1回	年に数回	買わない
食料品	18	15	38	20	4	2	4
日用雑貨	2	1	12	35	21	1	6
衣料品	1	0	0	7	28	36	8
外食	2	0	7	15	33	20	5
酒類·嗜好品	6	4	8	20	16	9	15
理美容室	1	1	0	1	33	38	6

(2-2) コンタ君カード加盟店の利用状況

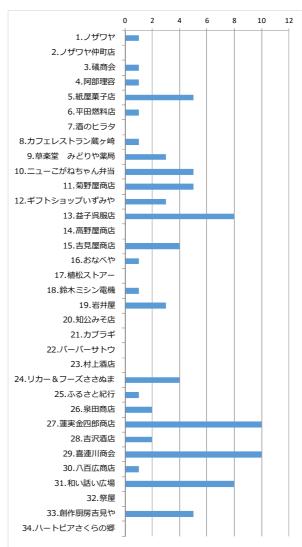
Q2.コンタ君カード加盟店でよく利用する店舗(複数回答可)

分類	回答数	割合
1.ノザワヤ	17	3.8%
2.ノザワヤ仲町店	4	0.9%
3.礒商会	15	3.3%
4.阿部理容	3	0.7%
5.紙屋菓子店	36	8.0%
6.平田燃料店	13	2.9%
7.酒のヒラタ	18	4.0%
8.カフェレストラン蔵ヶ崎	16	3.6%
9.草楽堂 みどりや薬局	7	1.6%
10.ニューこがねちゃん弁当	30	6.7%
11.菊野屋商店	23	5.1%
12.ギフトショップいずみや	9	2.0%
13.益子呉服店	31	6.9%
14.高野屋商店	10	2.2%
15.吉見屋商店	24	5.3%
16.おなべや	32	7.1%
17.植松ストアー	4	0.9%
18.鈴木ミシン電機	8	1.8%
19.岩井屋	8	1.8%
20.知公みそ店	8	1.8%
21.カブラギ	4	0.9%
22.バーバーサトウ	4	0.9%
23.村上酒店	3	0.7%
24.リカー&フーズささぬま	9	2.0%
25.ふるさと紀行	9	2.0%
26.泉田商店	5	1.1%
27.蓮実金四郎商店	16	3.6%
28.吉沢酒店	5	1.1%
29.喜連川商会	19	4.2%
30.八百広商店	9	2.0%
31.和い話い広場	25	5.6%
32.祭屋	5	1.1%
33.創作厨房吉見や	21	4.7%
34.ハートピアさくらの郷	0	0.0%
計	450	100.0%



Q3.Q2で答えた中で最も頻繁に利用する店舗

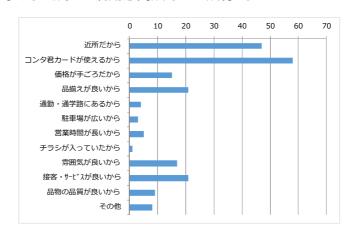
分類	回答数	割合
1.ノザワヤ	1	1.2%
2.ノザワヤ仲町店	0	0.0%
3.礒商会	1	1.2%
4.阿部理容	1	1.2%
5.紙屋菓子店	5	5.8%
6.平田燃料店	1	1.2%
7.酒のヒラタ	0	0.0%
8.カフェレストラン蔵ヶ崎	1	1.2%
9.草楽堂 みどりや薬局	3	3.5%
10.ニューこがねちゃん弁当	5	5.8%
11.菊野屋商店	5	5.8%
12.ギフトショップいずみや	3	3.5%
13.益子呉服店	8	9.3%
14.高野屋商店	0	0.0%
15.吉見屋商店	4	4.7%
16.おなべや	1	1.2%
17.植松ストアー	0	0.0%
18.鈴木ミシン電機	1	1.2%
19.岩井屋	3	3.5%
20.知公みそ店	0	0.0%
21.カブラギ	0	0.0%
22.バーバーサトウ	0	0.0%
23.村上酒店	0	0.0%
24.リカー&フーズささぬま	4	4.7%
25.ふるさと紀行	1	1.2%
26.泉田商店	2	2.3%
27.蓮実金四郎商店	10	11.6%
28.吉沢酒店	2	2.3%
29.喜連川商会	10	11.6%
30.八百広商店	1	1.2%
31.和い話い広場	8	9.3%
32.祭屋	0	0.0%
33.創作厨房吉見や	5	5.8%
34.ハートピアさくらの郷	0	0.0%
計	86	100.0%



Q4.その店舗をよく利用する理由(複数回答可)

コンタ君カードが使えることを理由に挙げる人が多く、利用意向が高いことが窺える。

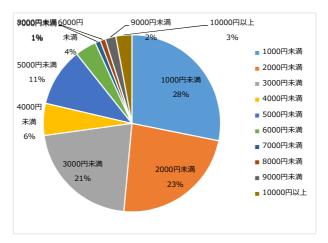
分類	回答数	割合
近所だから	47	22.5%
コンタ君カードが使えるから	58	27.8%
価格が手ごろだから	15	7.2%
品揃えが良いから	21	10.0%
通勤・通学路にあるから	4	1.9%
駐車場が広いから	3	1.4%
営業時間が長いから	5	2.4%
チラシが入っていたから	1	0.5%
雰囲気が良いから	17	8.1%
接客・サーヒ゛スが良いから	21	10.0%
品物の品質が良いから	9	4.3%
その他	8	3.8%
計	209	100.0%



Q5.その店舗での一回の購入金額平均

金額の差は主として利用店舗による。食料品店では 1,000 円未満、ガソリンスタンドでは 5,000 未満が多い。

分類	回答数	割合
1000円未満	29	28.2%
2000円未満	24	23.3%
3000円未満	22	21.4%
4000円未満	6	5.8%
5000円未満	11	10.7%
6000円未満	4	3.9%
7000円未満	1	1.0%
8000円未満	1	1.0%
9000円未満	2	1.9%
10000円以上	3	2.9%
計	103	100.0%



Q6.その店舗でよく購入するもの(自由回答)

食料品が最も多く、次いで衣料品、ガソリン・灯油、化粧品との回答が多い。

分類	回答数
野菜、果物	4
しいたけ	2
魚	2
食料品	9
惣菜、刺身	3
弁当	2
アイス	1
和菓子	1
茶、コーヒー	5
飲料	2

分類	回答数
酒、たばこ	3
日用雑貨	2
事務用品	1
化粧品	5
健康食品	2
衣料品(洋服、下着)	9
帽子	1
靴	1
ウォーキングシューズ	1
作業着	1

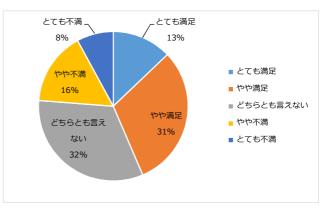
分類	回答数
ランチ	1
天ぷらそば、ざるそば	1
生ビール	1
ガソリン・灯油	6
洗車、オイル交換	1
タイヤ	1
乾電池、他電気製品	1

(2-3) コンタ君カード事業に対する評価・要望

Q7.コンタ君カード加盟店舗数に満足しているか

「とても満足」「やや満足」が 43.6%と半数近いものの、「とても不満」「やや不満」が 23.8%あり、 加盟店の拡大が望まれる。

分類	回答数	割合
とても満足	13	12.9%
やや満足	31	30.7%
どちらとも言えない	33	32.7%
やや不満	16	15.8%
とても不満	8	7.9%
計	101	100.0%



Q8.コンタ君カード加盟店で取り扱って欲しい商品(自由回答)

「ペットのえさ」(1人)

他に、「ポイント対象商品を増やしてほしい」(1人)という要望があった。

Q9.コンタ君カードに加盟して欲しい店舗(自由回答)

道の駅のテナントや魚屋などの個店に関しては、ぜひとも加盟を呼びかけたいところである。美容室については、「ポイントが(通常の)半分でもよい(ので加盟してほしい)」という意見があった。

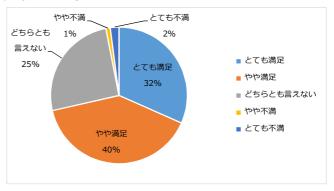
分類	回答数
道の駅のテナント	1
スーパーマーケット	3
コンビニエンスストア	1
食料品店	1
魚屋	1
雑貨屋	1
本屋	1
リサイクル用品店	1
美容室	3
食事処、カフェ	1

分類	回答数	
魚一	1	
オータニ	10	
עאב	6	
ウェルシア	2	
かんぽの宿	1	

Q10.コンタ君カードのデザインに満足しているか

カードのデザインに関する不満は、ほとんどないといえる。

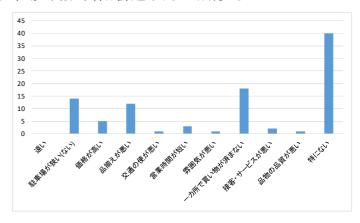
分類	回答数	割合	
とても満足	31	31.6%	
やや満足	39	39.8%	
どちらとも言えない	25	25.5%	
やや不満	1	1.0%	
とても不満	2	2.0%	
計	98	100.0%	



Q11.コンタ君カード加盟店への買い物で困っていること

ワンストップショッピングへの対応、駐車場の台数確保が課題であることが窺える。

分類	回答数	割合
遠い	0	0.0%
駐車場が狭い(ない)	14	14.4%
価格が高い	5	5.2%
品揃えが悪い	12	12.4%
交通の便が悪い	1	1.0%
営業時間が短い	3	3.1%
雰囲気が悪い	1	1.0%
一カ所で買い物が済まない	18	18.6%
接客・サービスが悪い	2	2.1%
品物の品質が悪い	1	1.0%
特にない	40	41.2%
計	97	100.0%



Q12.コンタ君カード特典に満足しているか

ポイント付与に関しては、「満足」と「やや満足」が多くなっている。

喜連川温泉入浴券と道の駅きつれがわ温泉入浴券の満足度については、相関関係がみられる。 温泉に魅力を感じる人とそうでない人とで評価が分かれていると思われる。

分類	満足	やや満足	どちらとも	やや不満	不満
108円で1ポイント	25	37	24	4	4
1ポイント1円で利用可	27	31	20	1	0
喜連川温泉入浴券(10回分)	31	17	26	3	0
道の駅きつれがわ温泉入浴券	29	17	27	3	0
各種事業(商品交換会、ハイキング等)	26	16	29	5	2
計	138	118	126	16	6

Q13.コンタ君カード特典にして欲しいこと(自由回答)

回答者の年齢層を考慮すると、地域内の運動施設利用特典は検討の余地があると思われる。

分類	回答数		
町内の買物商品券	1		
運動施設(スポーツジム等)利用	1		
利用年数に応じたポイントアップ	1		
誕生月のポイントアップ	1		
100円で1ポイント	2		

Q14.コンタ君カードに付加して欲しい機能(自由回答)回答なし。

(3) まとめ

回答者は60代以上が65.8%で、全体に年齢層は高めである。最も多いのが60代女性である。 食料品店、ガソリンスタンド、衣料品店、飲食店での利用が多い。

店舗の利用理由として、「コンタ君カードが使えるから」を挙げる人が 27.8%となっていることから、コンタ君カードが集客に寄与していることが窺える。

加盟店数については、満足とは言えない人が半数以上であり、加盟店の増加が求められる。特に 道の駅については、リニューアルを機に、テナント全店で利用できるようになることが望まれる。

カード特典は、ポイント付与については全体に満足度がやや高めである。温泉入浴券については評価が分かれるが、支持する人の満足度は高くなっている。

特典の充実により、コンタ君カードの魅力をさらに高め、利用の促進、さらには地域商業の活性化につなげていきたいところである。

3. アンケート項目

コンタ君カード加盟事業者アンケート 01.貴店の業種についてあてはまるものをお選びください □小売業 □製造小売 □製造業 □飲食業 □宿泊業 □不動産業 □理美容業 □サービス業 □建築・建設業 □その他(Q2.経営形態についてお答えください □個人 □法人 03.資本金についてお答えください □個人事業(個人事業主) □1,000万以下 □5,000万以下 □1億以下 □1億以上 Q4.従業員数についてお答えください(パート・アルバイト含む) □0人(自分のみ) □1~5人 □6~10人 □11~20人 □21人以上 Q5.店舗の規模についてお答えください □大型店(1,000㎡以上) □小型店(1,000㎡未満) Q6.喜連川地域の景気についてどのように感じますか? □非常に良い □良い □やや良い □どちらとも言えない □やや悪い □悪い □非常に悪い Q7.前年と比べて当てはまる箇所へ☑をつけてください 増加(好転) 不変 減少 (悪化) 売上・収入 収益率 従業員数 \Box Q8.コンタ君カードの利用頻度について、お客様の何割が提示されますか? (1ヶ月間の平均) □提示なし □1~3割 □4~7割 □8割以上 Q9.「コンタ君カードをお持ちですか?」と声をかけていますか? □来店客全員に声をかけている □時々声をかけている □全く声をかけていない Q10.全ての商品を対象にポイントを発行していますか? □はい(全ての商品を対象にしている) □過半数の商品を対象にしているが、一部対象外の商品がある □一部商品(取扱商品の半数以下)を対象にしている Q11.コンタ君カードに対するお客様の反応はいかがですか? □大変好評である □まあ好評である □ふつう □利用がない □その他(具体的に:) Q12.コンタ君カード加盟店となったことで売上の増加につながっていますか? □つながった(増加した) □変わらない □つながらない(減少した) Q13.Q12で「つながった」とお答えの方は、前年度より売上は何パーセント増加しましたか? □1~5% □5~10% □10%以上 Q14.コンタ君カード加盟店となったことで新規のお客様確保につながりましたか? □つながった(増加した) □変わらない □つながらない(減少した) Q15.Q14で「つながった」とお答えの方は、前年度より新規顧客は何パーセント増加しましたか? □1~5% □5~10% □10%以上 Q16.コンタ君カード加盟店となることで既存顧客の流出を防げていますか? □防げている □防げていない □わからない Q17.コンタ君カードは地元商店の活性化に有効な事業だと思いますか? □思う □思わない □わからない Q18.コンタ君カードのデザインに満足されていますか? □とても満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □とても不満

ご協力ありがとうございました。

コンタ君カード加盟店利用者アンケート

性別	□男性 □	□女性							
年代	□20歳未満 □20代 □30代 □40代 □50代 □60代 □70代 □80代 □90代以上								
₩₩ ***	□学生 □会社員 □会社役員 □公務員・団体職員 □自営業								
職業	□パート・アルバイト □専業主婦(夫) □無職 □その他								
	□小入 □葛城 □金枝 □鹿子畑 □上河戸 □喜連川 □桜ケ丘 □下河戸								
居住地区	□早乙女 □穂積 □南和田 □鷲宿 □その他さくら市内 □その他県内 □県外								
世帯構成	 □家族と同居 □ひとり暮らし □その他								
同居家族	□配偶者 □子ども □孫 □親 □その他 (複数回答可)								
Q1.買い物を	をするのはど	れくらいのサ	預度ですか?	あてはまる。	ところに☑を	つけてくだる	さい		
品	目	毎日	週4~5回	週2~3回	週1回	月に1回	年に数回	買わない	
食料	补品								
日用雑貨									
衣料	斗品								
外	·食								
酒類・	嗜好品								
	容室								
Q2.コンタ和	ヨカード加盟	店でよく利用	用する店舗は	どこですか	?(複数回答	河)			
□ 1.ノザワ	1.ノザワヤ			□ 13.益子呉服店			□ 25.ふるさと紀行		
□ 2.ノザワヤ仲町店			□ 14.高野屋商店			□ 26.泉田商店			
□ 3.礒商会			□ 15.吉見屋商店			□ 27.蓮実金四郎商店			
□ 4.阿部理容			□ 16.おなべや			□ 28.吉沢酒店			
□ 5.紙屋菓子店			□ 17.植松ストアー			□ 29.喜連川商会			
□ 6.平田燃料店		□ 18.鈴木ミシン電機			□ 30.八百広商店				
□ 7.酒のヒラタ		□ 19.岩井屋			□ 31.和い話い広場				
□ 8.カフェレストラン蔵ヶ崎		□ 20.知公みそ店			□ 32.祭屋				
□ 9.草楽堂 みどりや薬局			□ 21.カブラギ			□ 33.創作厨房吉見や			
□ 10.二ューこがねちゃん弁当			□ 22.バーバーサトウ			□ 34.ハートピアさくらの郷			
			□ 23.村上酒店						
	□ 12.ギフトショップいずみや □ 24.リカー&フーズささぬま								
Q3.Q2でお	答えいただし	ハた中で最も	頻繁に利用す	する店舗はど	こですか?	(数字でご記	入ください		
Q4.そのお店をよく利用する理由は何ですか?あてはまるものに図をつけてください(複数回答可)									
□近所だから □コンタ君カードが使えるから □価格が手ごろだから □品揃えが良いから									
□通勤・通学路にあるから □駐車場が広いから □営業時間が長いから □チラシが入っていたから									
□雰囲気が良いから □接客・サービスが良いから □品物の品質が良いから □その他 ()									
Q5.そのお店での一回の購入金額平均はどのくらいですか?									
□1,000円未満 □2,000円未満 □3,000円未満 □4,000円未満 □5,000円未満									
□6,000円未満 □7,000円未満 □8,000円未満 □9,000円未満 □10,000円以上									
Q6.そのお店	古でよく購入	するものはん	可ですか?						
I									

※裏面に続く

Q7.コンタ君カード加盟店舗数	(に満足されていますか?					
□とても満足 □やや満足	□どちらとも言えない □やや不満 □とても不満					
Q8.コンタ君カード加盟店で取り扱って欲しい商品があれば自由にご記入ください						
Q9.コンタ君カードに加盟して	欲しいお店があれば店名を自由にご記入ください					
Q10.コンタ君カードのデザイ	ンに満足されていますか?					
□とても満足 □やや満足	□どちらとも言えない □やや不満 □とても不満					
Q11.コンタ君カード加盟店へ	の買い物で困っていることはありますか?					
□遠い □駐車場が狭い(ない)) □価格が高い □品揃えが悪い					
 □交通の便が悪い □営業時間	別が短い □雰囲気が悪い □一カ所で買い物が済まない					
□接客・サービスが悪い □品	品物の品質が悪い □特にない					
・108円で1ポイント	□満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □不満					
・1ポイント1円で利用可	□満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □不満					
・喜連川温泉入浴券(10回分)	□満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □不満					
・道の駅きつれがわ温泉入浴券	・ □満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □不満					
・各種事業(商品交換会、ハイキング	等) □満足 □やや満足 □どちらとも言えない □やや不満 □不満					
Q13.コンタ君カード特典にし	て欲しいことがあれば自由にご記入ください。					

ご協力ありがとうございました。

作成

株式会社UI志援コンサルティング 中小企業診断士 東 健司 中小企業診断士 久保田 美保